

今月の管内農業情報（東三河農林水産事務所 農業改良普及課）

[2026年8月17日]

7月の農業情報

タイトル 若手水田作農家が「にじのきらめき」ほ場を視察しました

とき 令和8年7月28日（火）

ところ 豊橋市・豊川市各ほ場

主体・対象 豊橋市、豊川市の若手水田作農家（6名）

内容

若手水田作農家の情報共有と水稻栽培技術の向上を目的に、若手農家が栽培する水稻品種「にじのきらめき」のほ場巡回視察を実施しました。

「にじのきらめき」は高温耐性を有し、多肥栽培による多収が期待できる品種です。一方で、当管内における栽培技術はまだ確立されていません。育成元である農研機構では、幼穂形成期の葉色を目安に施肥管理を行うことが有効とされています。

当日は、参加者のほ場を巡回しながら、農業改良普及課が各ほ場の生育状況や幼穂形成期における葉色の違いについて説明しました。参加者からは、「普段は他の農家のほ場を見る機会が少ないため、大変参考になった」といった声が聞かれました。

「にじのきらめき」は農家からの関心が高い品種であることから、今後も栽培事例の収集や検討を進め、地域に適した栽培指針の確立を目指していきます。



ほ場を視察する参加者